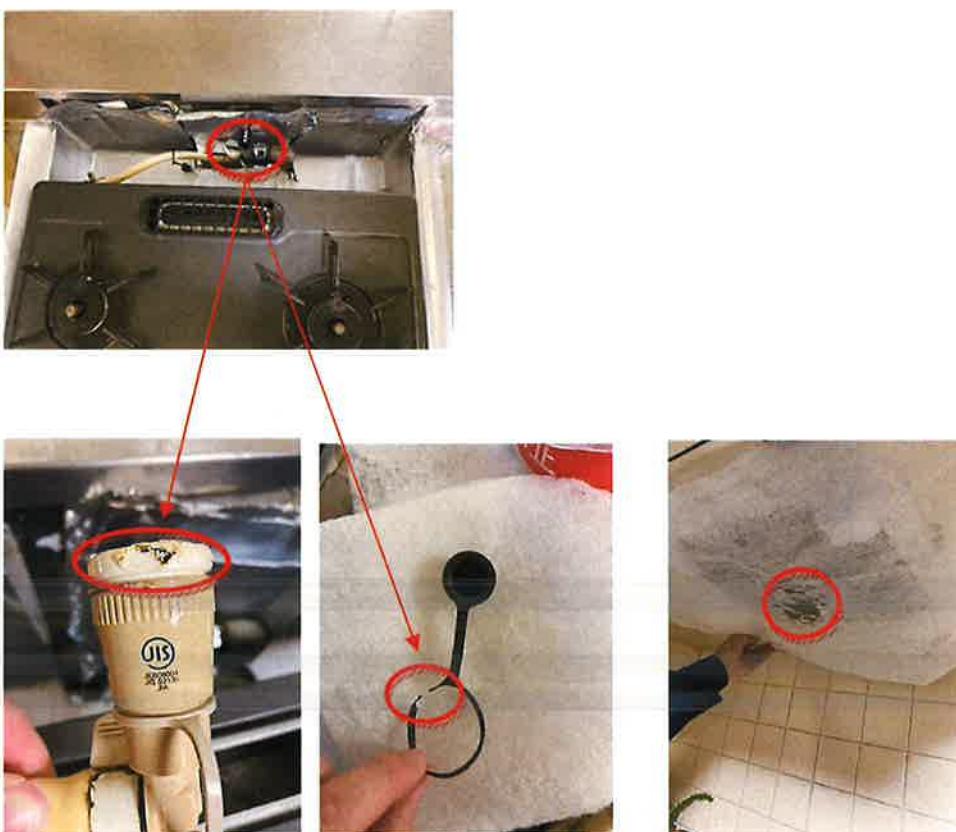


【現場写真】

<設置状況>



<焼損状況>



⇒コンロのガス栓に接続の迅速継ぎ手、ガス栓キャップおよびコンロ上部にあるレンジフードの
フィルターが一部焼損、溶融

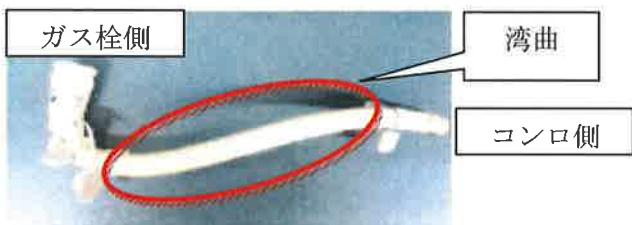
<復旧状況>



⇒迅速継ぎ手、ソフトコードおよびガス栓キャップの取り替えを実施

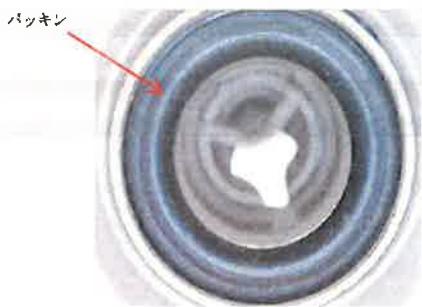
【製造事業者による迅速継ぎ手の調査状況】

<ソフトコードとの接続状態>



⇒接続方法には問題なく、ソフトコードも異常なし。調査時、ソフトコードは湾曲していることを確認

<迅速継ぎ手内部のパッキンの状態>



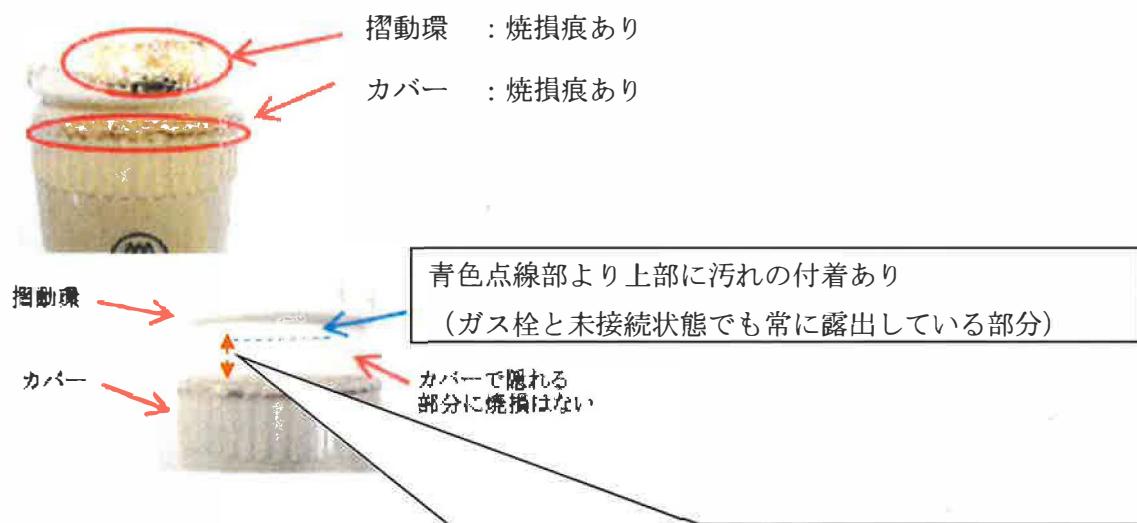
⇒パッキンのシール部を確認し、傷、欠け、割れ等が無いことを確認

<漏洩検査（気密確認）>



→検査器（水中ゲージ）にて漏洩確認を実施するも、異常なしを確認

<迅速継ぎ手の摺動環およびカバーの状態>



ガス栓と接続状態になると、摺動環が伸び（橙色矢印部）、露出面積が大きくなるが、伸びた部分には燃損痕や汚れの付着はなし
(※正常な接続状態であった場合、摺動環が伸びるので橙色矢印部内にも燃損痕が付くはずだが、今回付いていないことから、事故当時は接続が不完全な状態にあったことが推測できる)

<原因>

上記の調査結果より、ソフトコードが湾曲状態であったことから迅速継ぎ手がガス栓側に押し付けられた状態で固定。また、ガス栓と迅速継ぎ手が差し込み不十分により不完全な接続状態にあったものの前述の理由によりガスがコンロへ流れる状況を維持されていた中、何らかの理由でガスが漏洩。コンロ使用時の火に引火し、迅速継ぎ手、ガス栓キャップおよびコンロ上部にあるレンジフードのフィルターが一部焼損、溶融したものと推定